

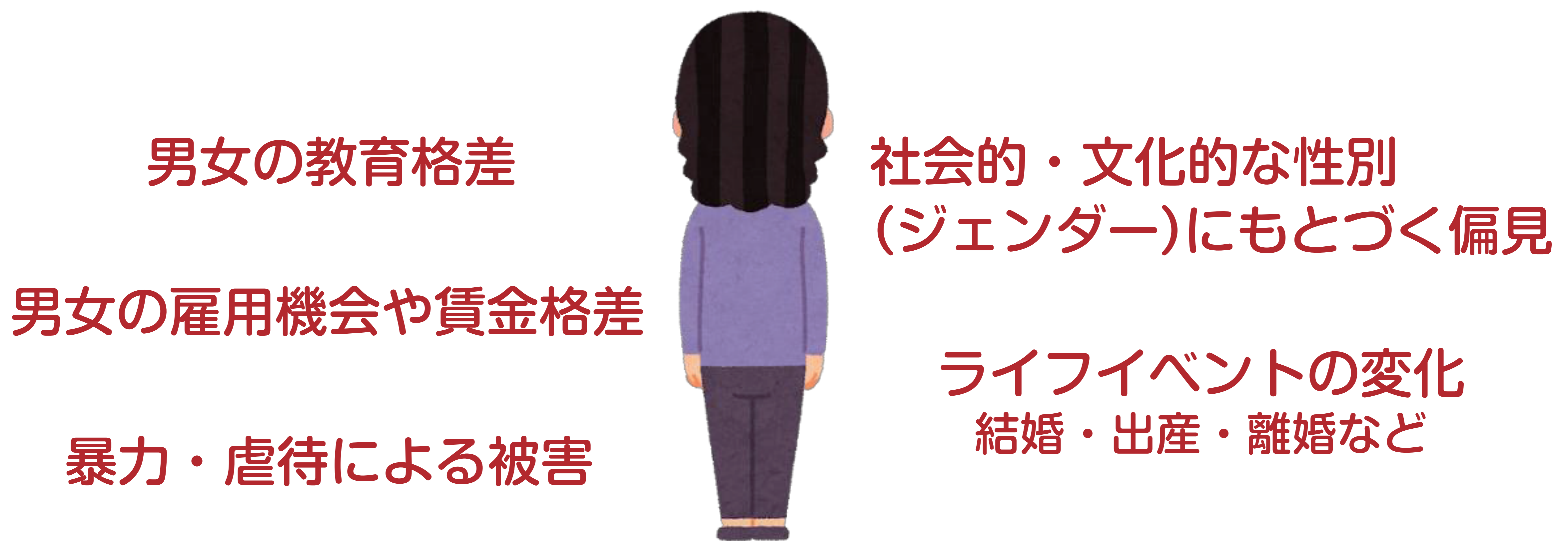
女性の貧困と生きづらさ

ジェンダーギャップ指数 日本120位 /156か国

世界経済フォーラムの発表によると、日本は2020年度G7(主要7ヶ国)では最下位にあり、政治参画における男女差が順位に影響しています。

SDGs(持続可能な開発目標)では、目標1.「貧困をなくそう」の中で、2030年までに貧困状態にある、男性、女性、子どもの割合を、少なくとも半分に減らすこともターゲットにしています。

ジェンダー不平等(男女格差)



- 給与所得者のうち、年収200万円以下の者の割合……男性6.32% 女性16.5%
 - 1年を通じて勤務した給与所得の平均……男性約539万円 女性約295万円
- 「2019年国税庁民間給与実態統計調査」より

連鎖する子どもの貧困と格差

- 日本の子どもの貧困率13.5%……約7人に1人の子どもが貧困状態
 - ひとり親世帯の子どもの貧困率48.1%……約半数の子どもが貧困状態
- 「2019年国民生活基礎調査」より

親の経済格差が、子どもの**学習意欲の格差**、**学力格差**、**健康格差**など生み、貧困が連鎖していってしまいます。

貧困問題は、個人の責任ではなく、社会の構造的な問題です。またSDGs(持続可能な開発目標)の**目標5「ジェンダー平等を実現しよう」**に掲げられているように、ジェンダー平等は、日本を含めて世界が抱える問題の一つです。